

第17回 THE FOOTBALL CONFERENCE HYOGO 2024 報告書

- 【1】日時 令和6年1月21日(日) 10:00 受付、10:30～16:00
- 【2】会場 甲南大学岡本キャンパス
- 【3】講師 影山 雅永 (JFA ユース育成ダイレクター)
- 【4】人数 220人
- 【5】内容

① ご挨拶 (一社)兵庫県サッカー協会 会長 林 啓司



昨年、ヴィッセル神戸がJリーグ優勝。1995年に阪神淡路大震災があり、その時、ヴィッセル神戸はトレーニング初日だったが、グラウンドには瓦礫の山だった。ダイエーの撤退やJ2降格などもあったが、震災後から29年後に優勝することが出来た。地元の子どもたちはモチベーションも上がり、よりサッカーファミリーが増えることを期待して、是非、ヴィッセル神戸に”アレンパ”をしてほしい。日本代表もドイツ・トルコに親善試合で勝利して、いよいよワールドカップ優勝目指すなか、

先日のアジアカップでイラク戦に敗退。アジアチームは日本に勝つことが目標となっている。女子もワールドカップでベスト8。トップトップはレベルアップ。今年パリオリンピックが開催される。本日はJFAより影山雅永・ユース育成ダイレクターに来ていただき、指導者・育成について、お話を聞きたいへん楽しみです。参加者の方々もいろいろと話を持って帰って、育成現場に尽力してほしい。

② ご挨拶 (一社)兵庫県サッカー協会 技術委員長 小森 康宏

兵庫FAの育成環境の改善 HYOGO'S Way 「THE NEXT GENERATION」 「2023年の約束」



～これからの兵庫サッカーの進むべき方向～

- ① Top-Top の強化
- ② 各年代の日本代表選手の輩出
- ③ 指導者養成事業の改善
- ④ グラスルーツの理解と協同
- ⑤ 女子の強化と普及
- ⑥ 13FA (都市協会) とのネットワーク強化⇒兵庫の強化

③ 講義 JFA ユース育成ダイレクター 影山 雅永 氏

「Japan's Way の方向性と育成」 ～世界一サッカーで幸せな国になる～



2014年、ドイツでの研修。ドイツ人インストラクターから日本は育成年代でもW-CUPに出場している。指導者養成がある。これによりいい指導者がいるといい選手が育つ時間がかかる。

しかし、ヨーロッパでは、U-19・U-17ヨーロッパ選手権が毎年あり、UEFAユースリーグもあり、ヨーロッパ内で常に競争がある。この競争力に勝てるのか？

未来に向けたチャレンジをしたい。

1993年ドーハの悲劇後、1997年、Jヴィレッジができた。全国から何百人の指導者が視察。

「俺たちの力でワールドカップに出よう」という指導者の熱が集まった。それから7年連続出場、ベスト16。クラマーさんの時代からすでに景色が変わっている。

Japan's way 内容はJFAのホームページより資料と映像もダウンロード可能。選手・指導者で共有、活用してもらえたら。ワールドカップ優勝トロフィーを掲げている姿からの逆算。

フットボールカルチャーの創造。 フィロソフィー53ページ。ウェールズ50ページ。

誰でもサッカーを楽しむ。日本型ダブルピラミッド（競技と楽しむ）。シナジー効果。

アイスランドの事例。 平等。練習時間・回数・試合出場時間など。リーグ戦昇格無し。

人数・コート of 広さなど柔軟に。選手がどうしたいのか。我々・大人はどう環境を与えるか。

中学校部活動改革。 部活動・クラブユース、種別の垣根を越えた環境。持続可能な。

望まれる選手像。 自分の武器。どこのチームに行っても自分のプレー・武器を持って活躍できるようにサッカーの原則を理解して、次のチームへ行っても活躍できるように。

プレービジョン。日本サッカーが陥りやすいガラパコス化へのチャレンジ。海外との距離がある。

日本代表・守田選手の事例。高強度でのプレー。ポルトガルへ移籍後、自分を変えた⇒慣れていない。

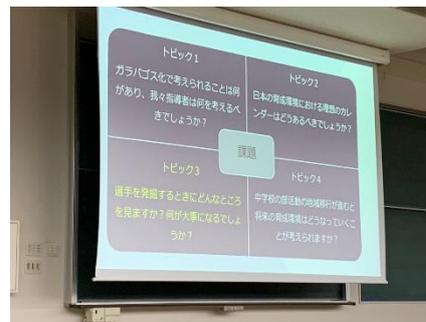
U17W-CUP、日本-アルゼンチン戦、前半映像。顔を上げさせてもらえないほどプレッシャー。

獣のようにボールを奪いに来る。マタイ効果。

フットボール・ファミリーの拡大。 みんなのサッカー。「する」「観る」「関わる」

グローバルジェンダー指数。アイスランド1位。日本120位台。

④ 世界基準と選手育成について ～世界一サッカーで幸せな国になる～



近くの参加者2人以上でディカッション

1. ガラパコス化で考えられることは何があり、我々指導者はトレーニングで育成で何を考えるべきでしょうか？
海外になかなか行けない。SNS・海外での経験。世界を意識。
個人か集団か。
2. 日本の育成環境における理想のカレンダーはどうあるべきでしょうか？
固定概念を外して。夏場。リーグ戦とカップ戦。
3. 選手を発掘するときにどんなところを見ますか？何が大事になるのでしょうか？
Talent ID。パフォーマンスとポテンシャル。
4. 中学校の部活動の地域移行が進むと将来の育成環境はどうなっていくことが考えられますか？
持続可能な活動。学校には施設（グラウンド・体育館・プールなど）がある。法の整備。

⑤ 2023 指導者養成部活動報告・2024 活動計画 47FA チューター 三浦 清司



安心安全な活動。
JFA セーフガーディング

⑥ クロージング



47FA シニアチューター 鈴木 義章

「指導者資格の取得と研修への参加」
「サッカー環境を良くする活動への協力」
⇒無理のない範囲で
「サッカーが世の中でリスペクトされるように」